



小郡市立小郡中学校 令和8年4月24日

小郡中学校だより 第260号

校長 山本 拓



学校教育目標 ～自ら学び 共に高め合う 未来への展望を開く子どもの育成～

R8 学校教育目標について

がっこうきょういくもくひょう
学校教育目標

『自ら学び 共に高め合う 未来への展望を開く子どもの育成』

本校では、これまで「**他を大切に**する心」を基盤とした教育活動を推進し、生徒一人一人の**人権意識の向上**と**豊かな人間関係づくり**に取り組んできました。

本目標は、生徒一人一人が**学びの主体**となり（自ら学び）、**多様な他者との関わり**の中で互いに認め合い、**高め合う関係**を築き（共に高め合い）、**変化の激しい社会**の中でも**希望**をもって自己の**将来**を切り拓いていく力（未来への展望を開く）を育成することを目指すものです。

○「自ら学ぶ」

- ・夢や希望、目標をもち、その達成に向けて主体的に自分で考えようとする
- ・あきらめずに**試行錯誤**しながら**問題を発見・解決**し、**新たな価値**を創造していく
- ・分からないことや**失敗**したことをやり直そうとする

○「共に高め合う」

- ・人の心の痛みを想像し、よさを認め合い、思いやりをもって行動する
- ・自分の行動や感情をコントロールし、協働して課題解決に向けて努力する
- ・感謝の心を持ち、仲間や学校・地域のために行動できる

○「未来への展望を開く」

- ・自己選択や自己決定により、自己調整し粘り強く課題を追究する
- ・生命を大切にし、心身ともに健康で安全に生活する
- ・基本的**生活習慣**を身につけ、責任を持った行動をする
- ・自分の可能性を信じ、**困難**なことにも立ち向かい、挑戦する

尚、学校教育目標は、小中9年間を見通して、同じ目標に向かって努力していこうという意味を込めて、小郡小学校と同じものに設定しています。

大切にしたい「Resilience（レジリエンス）」と「Agency（エージェンシー）」の二つの力

昨年度も学校だよりで述べさせてもらいましたが、現代は「先行き不透明な時代」と言われていて、**将来が見えづらい**現状です。このような時代を生きる子どもたちに、学校としてどのような力を育んでいくべきか、改めて考える必要があります。

その中で、今、特に大切にしたいと考えているのが「Resilience（レジリエンス）」「Agency（エージェンシー）」の二つの力です。

「Resilience（レジリエンス）」とは、**困難**や**失敗**に直面したときに、そこから立ち直り、前を向いて進もうとする力のことです。学校生活の中でも、思うようにいかないことや、人との関わりの中



で悩むことは少なくありません。そのような経験をとおして「もう一度やってみよう」「次はやり方を工夫してみよう」などと考えられる力を育てていく事が重要です。

一方「Agency(エージェンシー)」とは、自分で考え、選び、行動し、よりよい方向へと働きかけていこうとする力です。誰かに言われたからではなく、「自分はどうしたいのか」「どうすればよくなるのか」を考え、仲間と行動する姿は、これからの社会において欠かせない力です。

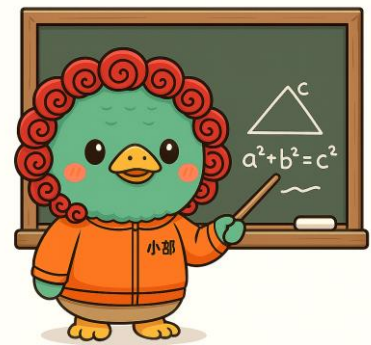
これからの学校は、知識を身につけるだけでなく、こうした力を育む場でなければなりません。本校では、授業や学校行事、日々の生活の中で、子どもたちが自ら考え、挑戦し、時には失敗しながらも、再び立ち上がる経験を大切にしていきたいと考えています。

子どもたち一人一人が「自分には乗り越える力がある」「自分の行動で周りをよりよくできる」と実感できるよう、ご家庭や地域も一緒になって支えていくことが重要です。

本校は、「Resilience(レジリエンス)」と「Agency(エージェンシー)」の二つの力を意識して教育活動を進めていきたいと考えています。

授業参観・学級懇談会・PTA総会・歓送迎会 ありがとうございました!

4月17(金)の授業参観・学級懇談会・PTA総会・歓送迎会に多数ご参加をいただき、誠にありがとうございました。授業参観では、新しい学級で集中して取り組んでいる子どもたちの姿が見られました。学級懇談会では、短い時間でしたが保護者の方々のおかげで有意義な時間にする事ができました。PTA総会も役員さんたちのお力でスムーズに終わることができ、今年度の活動計画等が決定しました。これからも子どもたちの着実な成長のために保護者のみなさまと協力して学校をつくりあげていきますので、よろしく願いいたします。



1年生 普通救命講習会を実施しました



救命講習会の様子

4月22日(水)に1年生は、「普通救命講習会」を実施しました。「身のまわりにいる人に危機が生じたとき、その場面に遭遇したとき、人命尊重を最優先とし、迅速かつ冷静に対応するための適応力を身につけること、自分の身を自分で守るための行動を考える機会にすること」を目的に毎年入学してすぐの1年生が講習を受けています。当日は、久留米広域消防本部三井消防署の方々

に来ていただき、心肺蘇生法とAED講習を受けました。1年生のみなさんは、消防署の方々の熱心なご指導のもと、人形模型を使いながら真剣に取り組んでいました。

私は過去、人に心肺蘇生を行った経験があります。当時は、身近なところにAEDが設置されておらず、悔しい思いをしました。救急隊が駆けつけるまで、繰り返し繰り返し心肺蘇生を試みました。その光景は、22年過ぎた今でも、鮮明に脳裏に焼き付いています。当時AEDはなかったものの、私が心肺蘇生を実際に行うことができたのは、講習会を受けた経験があったからです。人間は、いつ、どこでそのような場面に遭遇するか分かりません。みなさんには、講習会で受けた内容を時々、思い出してみしてほしいものです。